

Canon

天吊り金具

Ceiling Attachment

Fixation pour plafond

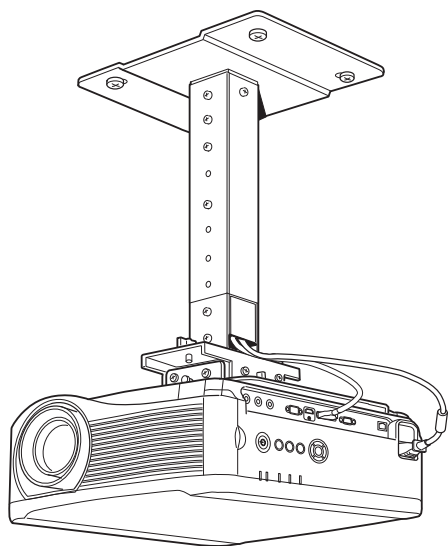
Soporte de techo

Deckenhalterung

Dell'attacco per soffitto

Plafondbevestiging

RS-CL11



組立・設置説明書

JPN

Assembly/Installation Manual

ENG

Manuel d'assemblage/installation

FRA

Manual de instalación

SPA

Zusammenbau- und Installationsanleitung

GER

Manuale per l'installazione/montaggio

ITA

Handleiding voor montage en installatie

NLD

キヤノン プロジェクター用 天吊り金具 RS-CL11 組立・設置説明書

本製品は、プロジェクターを天井から吊り下げて使用するための設置器具です。上下投写には使用できません。組み立てと設置は本設置説明書に従ってください。その他、プロジェクターの使用上の注意については、プロジェクターの使用説明書をご覧ください。

安全上のご注意



警告

この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



注意

この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



禁止

この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。



注意

この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示しています。



警告

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはケガの原因になります。



注意

- 取り付け作業は足場の安全を確保してから行ってください。
- プロジェクターの電源プラグやコネクターは、根元まで確実に差し込んでください。また、痛んだプラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。



禁止

- 天吊り金具のネジは確実に締め、ゆるめたり取り外したりしないでください。
- プロジェクターの投写の調整中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。



注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。



禁止

- 設置工事は必ず専門業者の技術者または販売店に依頼してください。工事の不備により、事故の原因となることがあります。
- プロジェクターの動作中に、レンズの前に物をおかないでください。火災の原因となることがあります。
- プロジェクターの投写の調整でレンズが動いているとき（レンズシフト動作中）は、レンズに触れないでください。けがの原因になることがあります。

正しくお使いいただくために



禁止

- プロジェクターの吸気口、排気口から壁まで 1m 以上離して設置してください。排気の影響で故障の原因となることがあります。

部品の構成

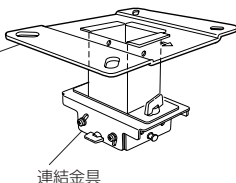
同梱品

質量：RS-CL11 (3.8kg)

天井取り付け金具および連結金具

天井取り付け金具

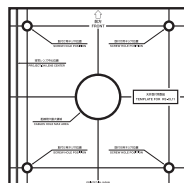
※ 作業工程の中で天井取り付け金具と連結金具はいったん分離させる必要があります。



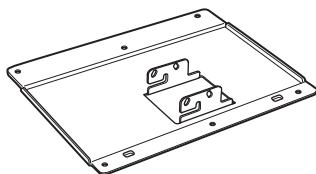
連結金具

RS-CL11

M5 ねじ (12 mm) : 4 本
 M4 ねじ (10 mm) : 6 本
 落下防止ワイヤー : 2 本
 ワッシャー : 2 枚
 M8 ナット : 2 個
 天井取り付け穴用テンプレート紙 : 1 枚
 組立・設置説明書 (本書) : 1 冊



本体取り付け金具



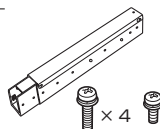
延長用パイプ RS-CL08/RS-CL09 (別売)

質量：RS-CL08 (2.2 kg)/RS-CL09 (3.4 kg)

- 天井の高さに合わせて、別売の延長用パイプ (RS-CL08/RS-CL09) をご使用ください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

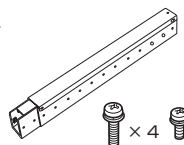
RS-CL08

外側 / 内側パイプ、外側 / 内側カバー
 M5 ねじ (12 mm) : 4 本
 M3 ねじ (10 mm) : 1 本
 ※ 延長量は 35 ~ 55 cm で、
 5 cm ごとに調整できます。



RS-CL09

外側 / 内側パイプ、外側 / 内側カバー
 M5 ねじ (12 mm) : 4 本
 M3 ねじ (10 mm) : 1 本
 ※ 延長量は 55 ~ 95 cm で、
 5 cm ごとに調整できます。



取り付け位置

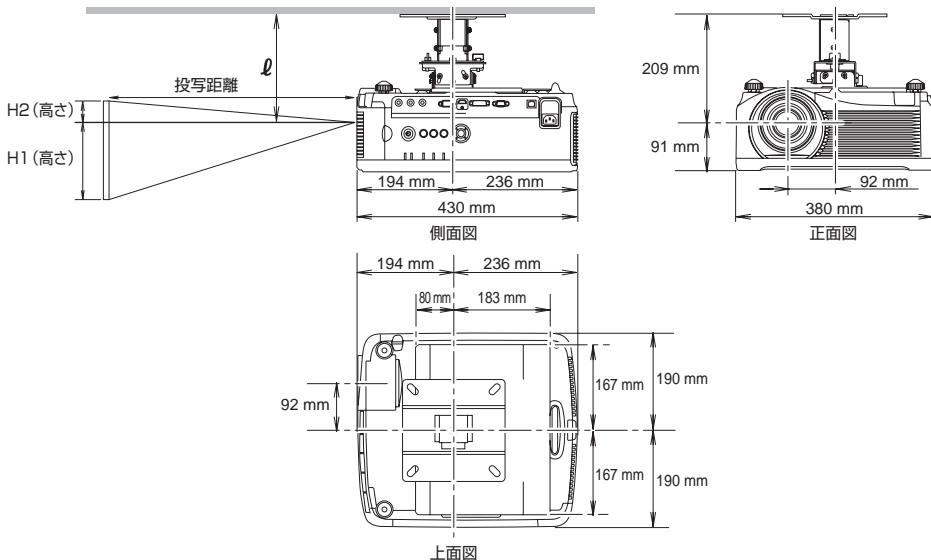
本書では、WUX4000を用いて組立、設置の説明をしています。

プロジェクターはスクリーンの正面に設置してください。ただし、レンズシフトを使って画面の位置、ひずみを補正することができます。詳しくはプロジェクターの使用説明書をご覧ください。



- 設置の前に必ず天井の強度を確認してください。設置部分の天井は、プロジェクターと天吊り金具（および延長パイプ）の質量を支える十分な強度が必要です。天井が強度不足のときは、十分な補強を行ってください。プロジェクターが落下シケガの原因となることがあります。
- 地震や振動などによる落下を防止するため、設置の際はワイヤーなどによる落下防止の対策を行ってください。プロジェクターが落下シケガの原因となることがあります。

RS-CL11

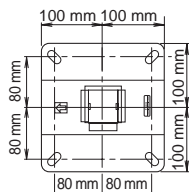


天井からレンズ中心までの距離 (l)

RS-CL11	RS-CL08を使用	RS-CL09を使用
21 cm	56 ~ 76 cm	76 ~ 116 cm

画面サイズ (H1, H2) と投写距離については、プロジェクターの使用説明書をご覧ください。

天井取り付け金具



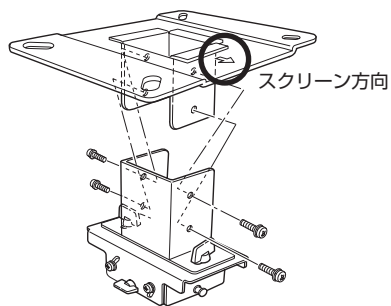
組み立てと設置

普通の天井への取り付け

準備:

天井取り付け金具と連結金具をいったん分離する

連結金具の M5 ねじ 4 本を外し、天井取り付け金具と連結金具を分離します。



1 天井に穴を開ける

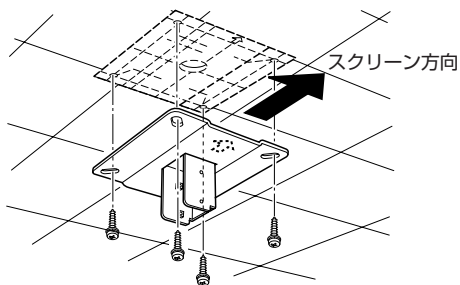
天井取り付け金具の固定用とケーブル類の配線用の穴を開けます。

- 穴の位置を決めるときは、付属のテンプレート紙をご使用ください。
- テンプレート紙にはスクリーンの方向が記載されています。

2 天井取り付け金具を天井に固定する

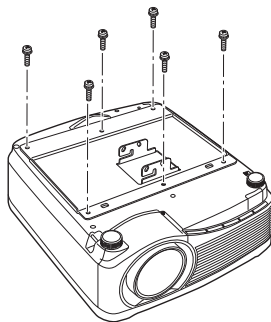
金具の矢印をスクリーンに向け、M13 ねじ 4 本で天井に固定します。

- 金具の取り付け前にテンプレート紙をはがしてください。
- M13 ねじは同梱していません。天井の構造に適したねじをご用意ください。



3 本体取り付け金具をプロジェクターに固定する

付属の M4 ねじ (6 本) をご使用ください。

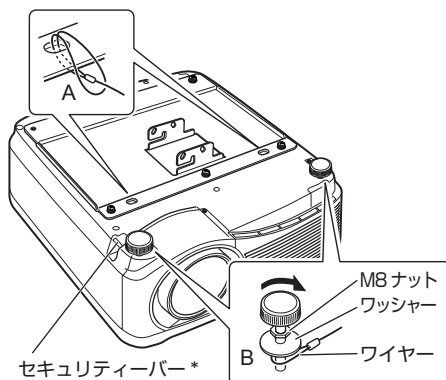


4 落下防止ワイヤーを取り付ける

- ① プロジェクターの調整脚をはずします。
- ② はずした調整脚の軸に付属の M8 ナットを手で最後までねじ込み、軸にワッシャーを通します。
- ③ 付属の落下防止ワイヤーを本体取り付け金具の長丸穴 (A) に通し、もう一方の端をはずした調整脚 (B) のねじに通します。
- ④ 調整脚をプロジェクターに取り付け、落下防止ワイヤーを固定します。
- ⑤ 同様に、もう一方の調整脚にもワッシャーと落下防止ワイヤーを取り付けます。

- 調整脚は、緩みのないようにしっかり締め付け固定してください。
- 調整脚のねじに M8 ナットを取り付けるときは、スパナなどの工具を使用しないでください。
- 落下防止ワイヤーは必ず 2 本とも取り付けてください。

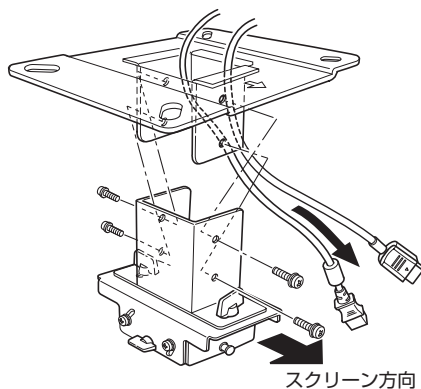
* セキュリティーバーは、プロジェクターの設置作業の落下防止としてもご使用ください。



5 天井の穴からケーブル類を出す

6 天井取り付け金具に連結金具を固定する

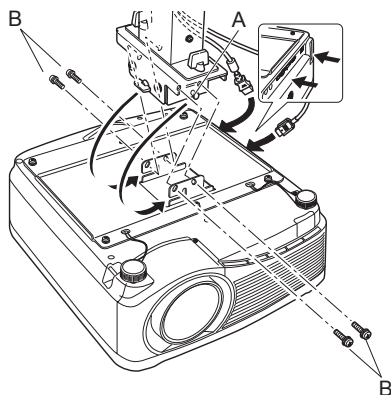
準備のときに外した M5 ねじ 4 本で固定します。



7 本体取り付け金具を連結金具に掛けて 仮止めする

連結金具の突起 (A) に引っ掛け、付属の M5 ねじ (B) 4 本で仮止めします。

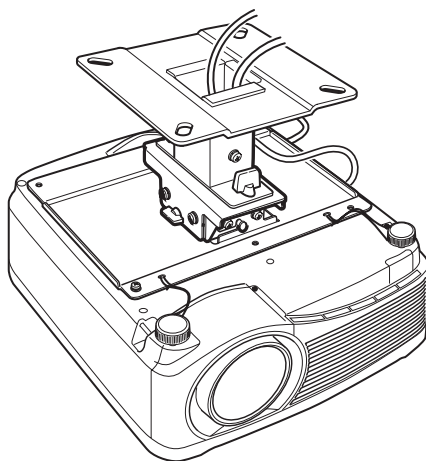
- 図のようにケーブル類を引き出してください。
- ねじ (B) は「投写角度の調整」(P.10)の後でしっかり締めて固定してください。



8 ケーブル類を接続する

プロジェクターにケーブル類を接続します。

設置が終わったら、投写角度を調整してください。(P.10)



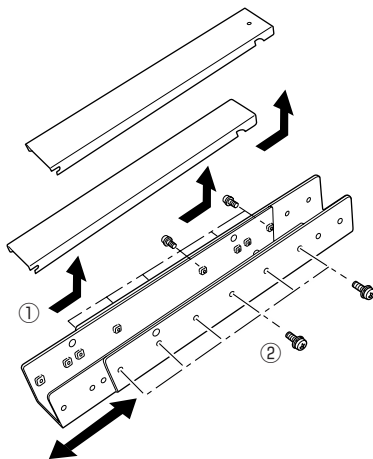
高い天井への取り付け

天井が高いときは、別売の延長用パイプRS-CLO8またはRS-CLO9を使用します。

準備：

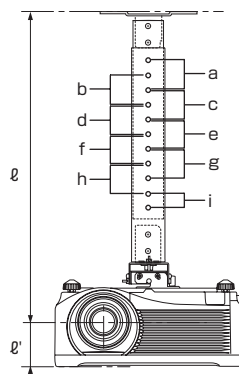
天井の高さに合わせ、パイプの長さを調整する

- ① 外側パイプと内側パイプのカバーを図のように少しずらし、取り外します。
 - ② 側面の M5 ねじ 4 本をいったん外し、プロジェクターを取り付ける高さに合わせてから固定し直します。
- ②のねじは、連続した 2 穴ではなく、間を 1 穴空けて固定してください。ただし、最も延長したときは、連続した 2 穴で固定してください。



パイプの延長量（イメージシフトがデフォルトのとき）

取り付け穴の位置	天井からレンズ光軸までの距離 (ℓ)	
	RS-CLO8	RS-CLO9
a	56 cm	76 cm
b	61 cm	81 cm
c	66 cm	86 cm
d	71 cm	91 cm
e	76 cm*	96 cm
f		101 cm
g		106 cm
h		111 cm
i		116 cm*



* 延長用パイプを最長の長さで使用する場合は、連続した 2 穴で固定してください。
ℓ' = 9cm

1 天井取り付け金具と連結金具をいったん分離する ⇒ P.4 準備

2 天井に穴を開ける ⇒ P.4 手順 1

3 天井取り付け金具を天井に固定する ⇒ P.4 手順 2

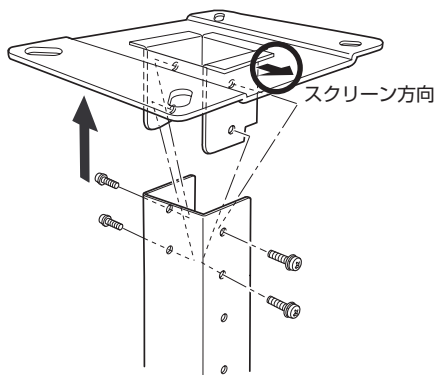
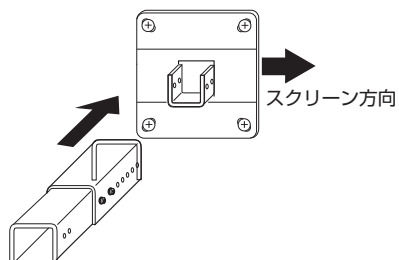
4 本体取り付け金具をプロジェクターに固定する ⇒ P.4 手順 3

5 落下防止ワイヤーを取り付ける ⇒ P.5 手順 4

6 天井取り付け金具に延長パイプの上端を固定する

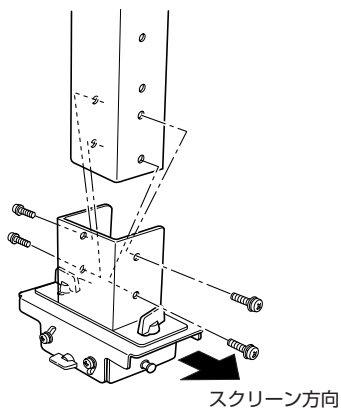
延長用パイプに付属の M5 ねじ 4 本で固定します。

- 図のようにパイプの開放部は天井取り付け金具の開放部に対して 180 度になる向きで取り付けます。



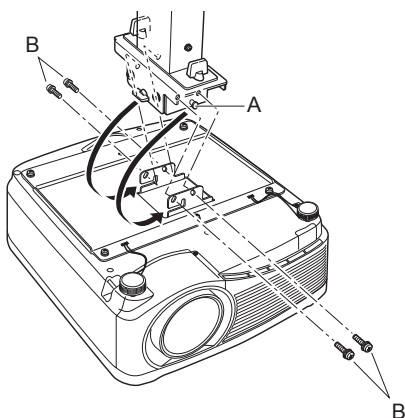
7 連結金具を延長パイプの下端に取り付ける

準備のときに天井取り付け金具から外しておいた M5 ねじ 4 本で固定します。



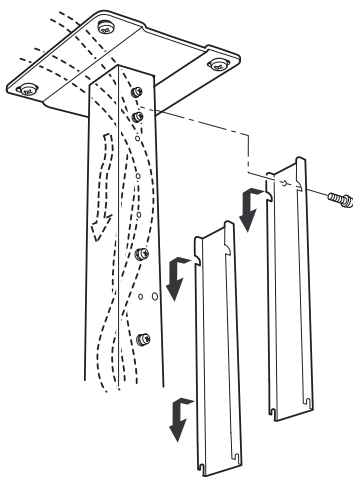
8 本体取り付け金具を連結金具に掛けて仮止めする

連結金具の突起 (A) に引っ掛け、付属の M5 ねじ (B) 4 本で仮止めします。ねじ (B) は「投写角度の調整」(P.10) の後でしっかり締めて固定してください。

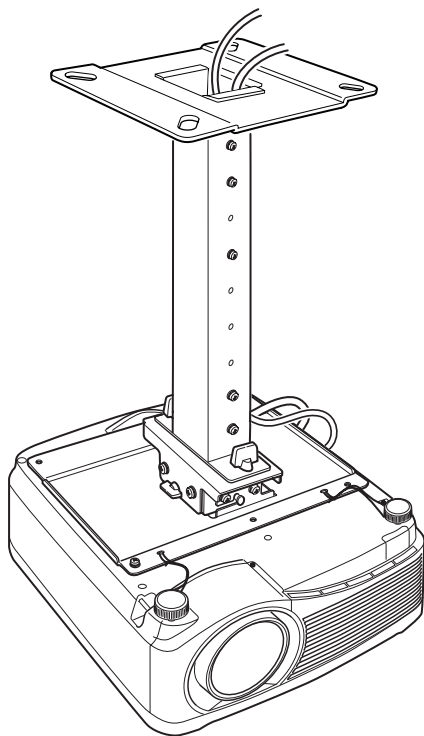


9 ケーブル類をパイプ内に配線し、カバーを閉める

- ① 天井の穴からケーブル類を引き出します。
- ② パイプの内側にケーブル類を収納します。
- ③ パイプのカバーを内側、外側の順で閉め、延長用パイプに付属の M3 ねじ 1 本で固定します。
- ④ ケーブル類をプロジェクターに接続します。



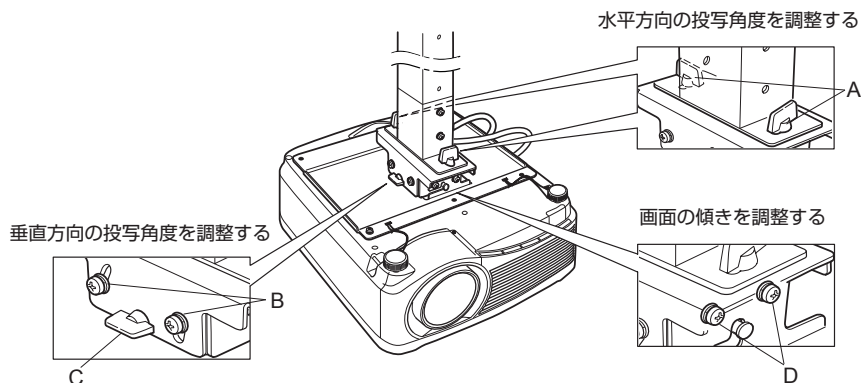
設置が終わったら、投写角度を調整してください。(P.10)



投写角度の調整

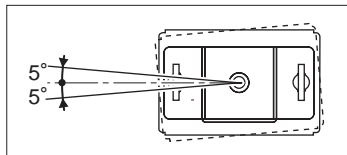
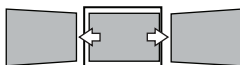
プロジェクターの電源を入れ、画像を投写して投写角度および画面の傾きを調整してください。

- 調整後はそれぞれのねじをしっかりと締め、各金具が確実に固定されていることを確認してください。
- 各金具を確実に固定するまでは、プロジェクターが落下しないように支えてください。



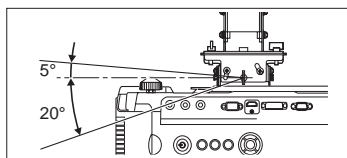
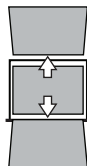
水平方向の投写角度（ひずみ）を調整する

- ① 蝶ねじ (A) 2本をゆるめ、本体を左右に動かして水平方向の投写角度を調整します。
- ② 位置が決まったら、蝶ねじを締めて固定します。



垂直方向の投写角度（ひずみ）を調整する

- ① ねじ (B) 4本、蝶ねじ (C) 2本の順にゆるめ、本体を上下に動かして垂直方向の投写角度を調整します。
- ② 位置が決まったら、蝶ねじ (C)、ねじ (B)の順に締めて固定します。



画面の傾きを調整する

- ① ねじ (D) 4本をゆるめ、本体の傾きを調整します。
- ② 位置が決まったら、ねじ (D) を締めて固定します。

